

特長

この時計は、標準電波を受信して正確な時刻を表示する電波修正時計機能を持っています。

電波修正機能 …… 毎日、自動的に標準電波を受信し、時刻を修正します。
強制受信も可能です。

カレンダー表示機能 …… 標準電波から読込んだ「月・日」を表示することもできます。
時差修正に連動した日付を表示できます。

非受信回数表示機能 …… 受信できなかった回数(日数)が表示され、受信状況が分かります。
安定な受信ができていない場合は「0」を表示します。
最大「9」まで計数表示します。


時差修正機能 …… 日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることで、非受信時の時刻合わせ機能 …… 標準電波を受取れない場合、時刻合わせをして一般のクォーツ精度で使用できます。

<受信周波数について>
この商品は東日本用(40kHz)と西日本用(60kHz)との受信周波数の仕様違いで2種類用意されています。お買い上げの商品がどちらの仕様かをご理解の上、ご使用いただけますようお願い申し上げます。受信周波数は、ケースの裏ぶた等にも表示されている場合と、ケースの番号(型式)から確認できる方法があります。
例)裏ぶたに4桁・4桁の型式があります。最初の4桁が型式です。
型式:P104(40kHz)、型式:P106(60kHz)
例)P104-0AA0との表示があったら、「40kHz」の仕様と分かります。

製品仕様

- 水晶振動数 …… 32,768Hz H± 秒間の振動数)
- 精度 …… 平均月差 ±2秒
(電波受信による時刻修正が行われない場合、気温5 ~ 35 °Cにおいて腕につけた場合)
- 作動温度範囲 …… 0 ~ +50 °C
- 駆動方式 …… ステップモーター式(時・分・針): 1分進針
- 表示体 …… FR 電界効果型液晶
- 使用電池 …… 小型リチウム電池 SB-T17 1個
- 電池寿命 …… 約3年
- 電波受信機能 …… 自動受信(AM2:30~AM6:30 受信状況によって受信回数は異なる) 受信が次の受信まではクォーツの精度で動きません。強制受信機能付き。
- 電子回路 …… 発振、分周、駆動、受信(C-MOS-C):2個
上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

各部の名称とはたらき



アンテナ位置 (この位置に受信用アンテナが内蔵されています。)

ボタンA (時差修正、針位置合わせ)

ボタンB (パネル部の表示切り替え、強制受信)

時計

分針

パネル表示部(秒、月・日、非受信回数の表示)

ボタンAは誤入力防止のため、ケースに埋め込まれています。操作のため先が細いものをご使用ください。分針は1分進針のため、5秒までその分位置に留まっていますので、ご注意ください。

ボタンBを押すと → の順序でパネル表示部が切り替わります。

秒表示 カレンダー表示(月・日) 非受信回数表示

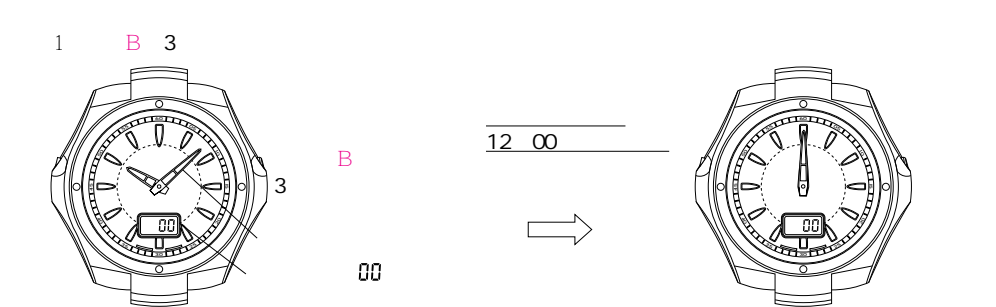
ボタンB

上記は受信状態が良好の場合の表示です。非受信回数は受信状況によって異なります。受信ができていない場合はカレンダーが表示されません。詳しくは「ご使用方法」を参照
非受信回数表示は約2秒でカレンダー表示に切り替わります。

ご使用方法(時刻の合わせかた)

この時計は標準電波を受信して正確な時刻を表示することができます。ご購入後お使いになる前に、標準電波を受信してからご使用することをお勧めします。

はじめてご使用される場合
1 ボタンBを2秒以上押し続け、針位置(時・分)を確認してください。

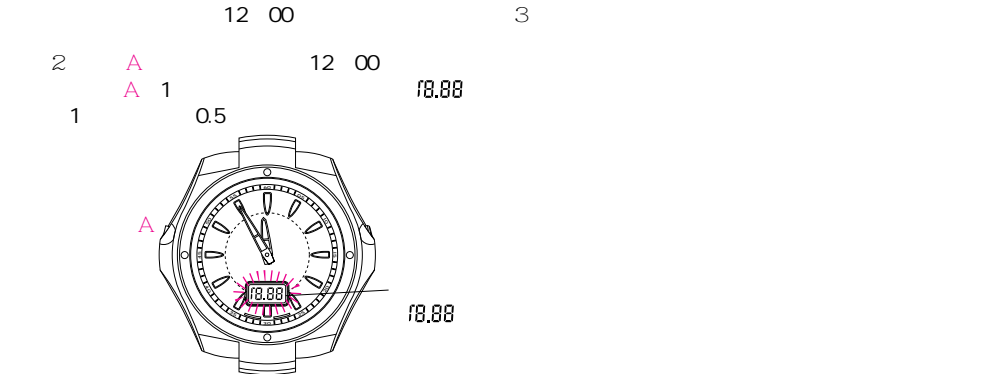


ボタンBを2秒以上押し続ける
針が早送り始めます
パネルは「00」の表示になります。

基本位置である12時00分を示すまで少し時間が掛かります。早送りが終わると分針が12時00分を指します。

ここで、針位置が12時00分を示した場合は、「操作3」に進んでください。

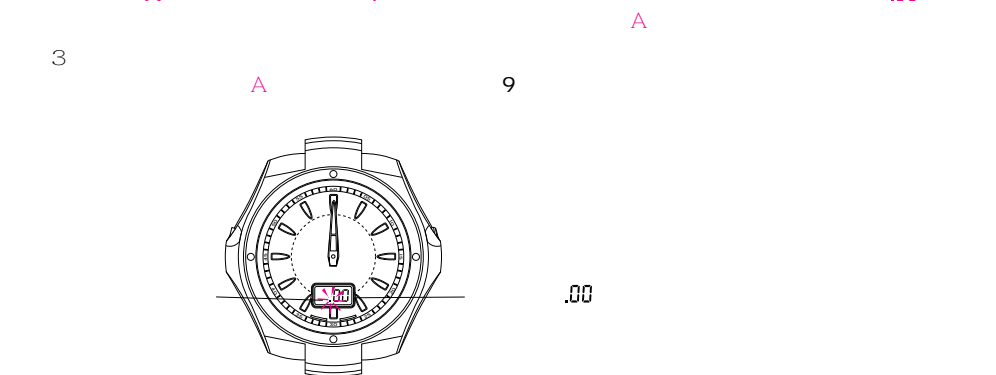
2 ボタンAを押して、針位置を12時00分に合わせてください。ボタンAを回押しすると、パネルの表示は「f8.88」に替わり、針位置合わせ状態になったことを示します。回押しごとに0.5分単位で進みます。押し続けると早く進みます。



針位置修正中は「f8.88」の点滅になります。

ボタンAによる針位置修正が約9秒間なかった場合、自動的に受信状態になります。表示も「00」等に切り替わります。まだ針位置修正が終わっていない場合、ボタンAを押して合わせることができます。

3 針位置の合わせが終わったら、受信を行います。針位置修正のボタンAの入力がないと自動的に(約9秒後)に受信状態に切り替わります。電波の受信しやすい場所に置いてください。(例、窓際で他の電子機器の影響のない場所)

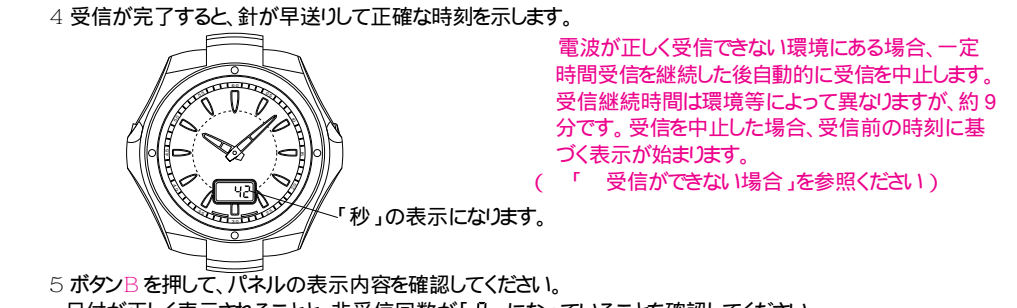


受信中は「00」が点滅します。

受信中は「f00」からスタートし「秒」のような表示になりますが、受信中は表示は秒ではありません。

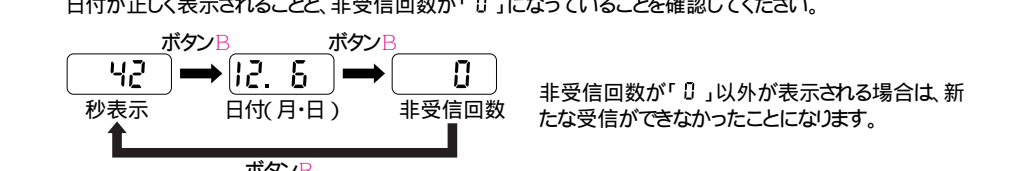
通常受信には約2分~約9分かかります。(環境によって異なります。)
受信しやすい環境については、「電波修正時計とは」をご参照ください。
受信中にボタンBを押すと、受信を強制終了しますので、ご注意ください。

4 受信が完了すると、針が早送りして正確な時刻を示します。



電波が正しく受信できない環境にある場合、一定時間受信を継続した後自動的に受信を中止します。受信継続時間は環境等によって異なりますが、約9分です。受信を中止した場合、受信前の時刻に基づき表示が始まります。(「受信ができない場合」を参照ください)

5 ボタンBを押して、パネルの表示内容を確認してください。日付が正しく表示されること、非受信回数が「0」になっていることを確認してください。



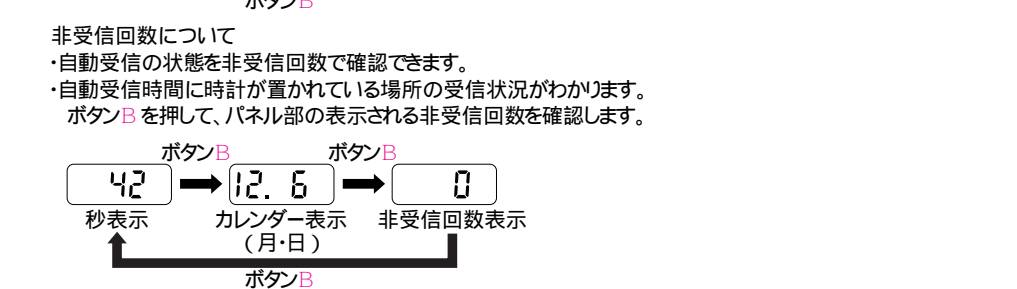
非受信回数について
・自動受信の状態を非受信回数で確認できます。
・自動受信時に時計が置かれている場所の受信状況がわかります。ボタンBを押して、パネル部の表示される非受信回数を確認します。

非受信回数が「0」以外が表示される場合は、新たな受信ができなかったこととなります。

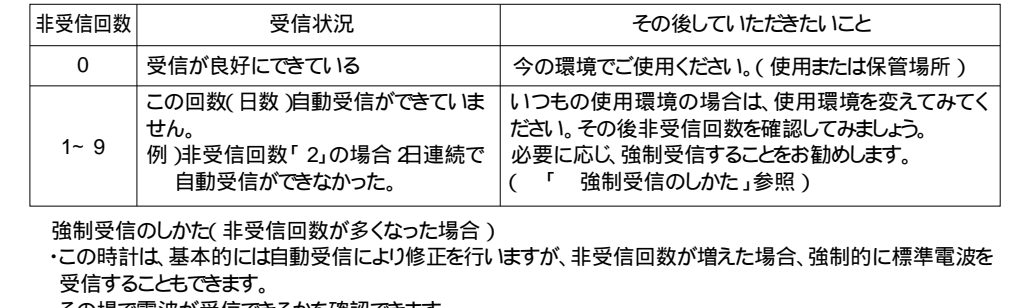
非受信回数	受信状況	その後していただきたいこと
0	受信が良好にできている	今の環境でご使用ください。(使用または保管場所)
1-9	この回数(日数)自動受信ができていません。 例)非受信回数「2」の場合、右連続で自動受信ができなかった。	いつもの使用環境の場合は、使用環境を変えてみてください。その後非受信回数を確認してみてください。必要に応じ、強制受信することをお勧めします。(「強制受信のしかた」参照)

強制受信のしかた(非受信回数が多くなった場合)
・この時計は、基本的には自動受信により修正を行いますが、非受信回数が増えた場合、強制的に標準電波を受信することもできます。
・その場で電波が受信できるかを確認できます。
・針位置の確認もできます。

1 ボタンBを2秒以上押し続けると、針位置が12時00分位置に早送りします。



強制的に標準電波を受信する場合は、ボタンAを押して合わせてください。



ボタンBを2秒以上押し続ける
時分針が12時00分を指します
パネルは「00」の表示になります。
基本位置である12時00分を示すまで少し時間が掛かります。早送りが終わると針位置が12時00分でない場合は、ボタンAを押して合わせてください。(「詳しくは」はじめてご使用される場合」を参照)

2 基本位置(12時00分)を表示後、自動的に(約9秒後)に受信状態に切り替わります。電波の受信しやすい場所に置いてください。(例、窓際で他の電子機器の影響のない場所)

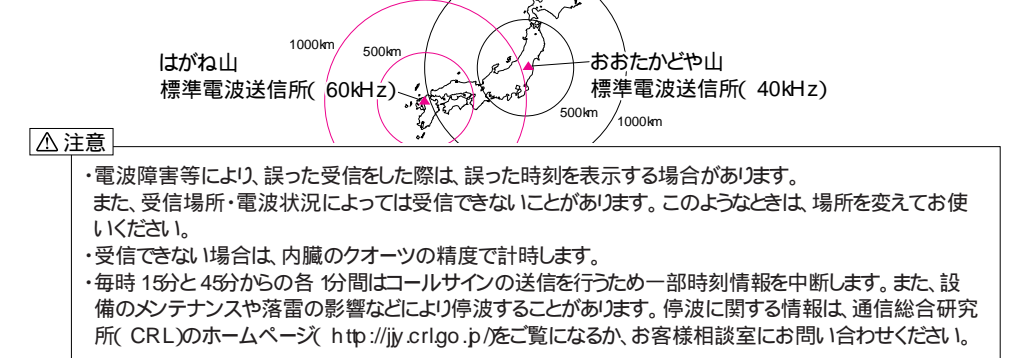
受信中は「00」が点滅します。

受信中は「f00」からスタートし「秒」のような表示になりますが、受信中の表示は秒ではありません。

通常受信には約2分~約9分かかります。(環境によって異なります。)
受信しやすい環境については、「電波修正時計とは」をご参照ください。
受信中にボタンBを押すと、受信を強制終了しますので、ご注意ください。

電波(修正)時計とは

電波修正機能とは
・正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。標準電波とは
・通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2箇所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
標準信号の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差と超高精度を保つ「セジウム原子時計」によるものです。電波受信については
・各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件にも異なりますがおおむね1,000kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz(福島送信所)、西日本地域は60kHz(九州送信所:福岡と佐賀の県境)の電波が受信しやすいと想定されます。
・この商品は40kHz受信用と60kHz受信用とに分かれています。
・ご使用におかれましては、適する周波数のご確認が必要です。
・ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物などの影響などによって、受信できない場合があります。



はがね山 標準電波送信所(60kHz) おおたかどや山 標準電波送信所(40kHz)

△注意
・電波障害等により、誤った受信をした際は、誤った時刻を表示する場合があります。また、受信場所・電波状況によっては受信できない場合があります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
・受信できない場合は、内臓のクォーツの精度で計時します。
・毎時1分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報を中断します。また、設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページ <http://jly.crlgo.jp/> をご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。

ご使用場所(保管場所)
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ電波の受けやすい窓際などに置いてください。また、電波ノイズを発生させるもの近くでのご使用は避けてください。

12時位置のアンテナ部を送信所のある方向に向けることにより良い受信環境になります。
自動受信時間帯(AM2:30~AM6:30)に時計を置く場所は受信しやすい環境を選びましょう。

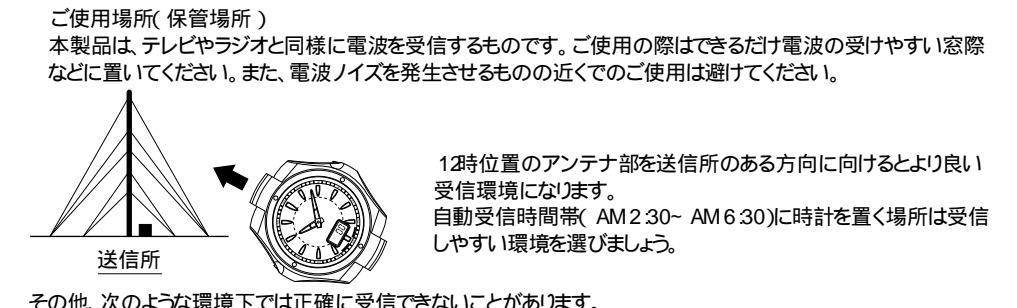
送信所

その他、次のような環境下では正確に受信できないことがあります。
a)ビルの中、ビルの谷間、地下。
b)高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
c)テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
d)工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い場所など、電波障害の起きる場所。
e)乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
f)スチール机等の金属製の家具の上や近く。

受信できない場合(手動時刻合わせ)

・標準電波を正しく受信できない環境または地域で、時刻を合わせることができます。
・時刻表示のみの機能としてご使用ください。(日付の合わせはできません)
尚、標準電波が受信できる場所に移動した場合は、その後、自動的に受信します。

1 ボタンAとボタンBを同時に2秒以上押し続けてください。この操作で以前の受信情報がすべて消去されます。



ボタンA ボタンB

2 ボタンAを押して、針位置を12時00分に合わせてください。パネルの表示は「f8.88」に替わり、針位置合わせ状態になったことを示します。回押しごとに0.5分単位で進みます。押し続けると早く進みます。

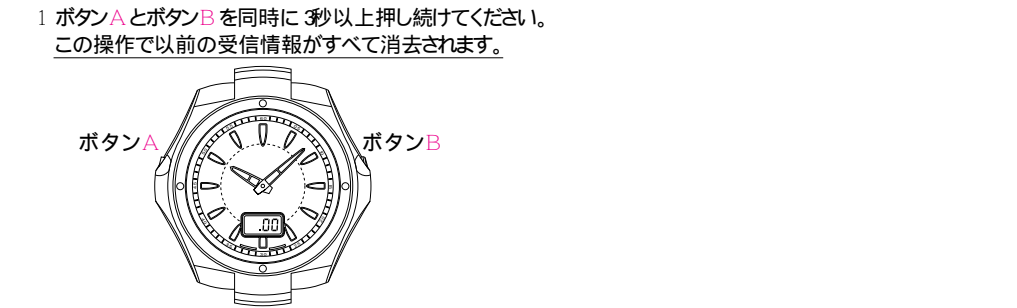
3 針位置合わせが終わったら、パネル表示部が「f8.88」の点滅から「00」に替わってから、ボタンAを押すと、1分単位で時刻の合わせができます。押し続けると、早く進みます。

ボタンAで修正中は、「分」を表示します。

「時計」と「分針またはパネル部の分表示」を見て、時刻を合わせます。
ボタンAを押し続けるとの針の動きは不連続な動きで異常ではありません。時刻は12時間制で合わせるため、午前午後は関係ありません。

<秒を正確に合わせる方法>
(1)10:00の時報で合わせる場合、9:59になってから腕時計を10:00に合わせる。
(2)2時報を待つ間に、パネル表示部に「秒」が表示されることを確認。
(3)3時報と同時にボタンAを押してください。分の「00」表示から9秒後には秒表示に切り替わります。

1 ボタンAとボタンBを同時に2秒以上押し続けてください。この操作で以前の受信情報がすべて消去されます。



ボタンA ボタンB

2 ボタンAを押して、針位置を12時00分に合わせてください。パネルの表示は「f8.88」に替わり、針位置合わせ状態になったことを示します。回押しごとに0.5分単位で進みます。押し続けると早く進みます。

3 針位置合わせが終わったら、パネル表示部が「f8.88」の点滅から「00」に替わってから、ボタンAを押すと、1分単位で時刻の合わせができます。押し続けると、早く進みます。

ボタンAで修正中は、「分」を表示します。

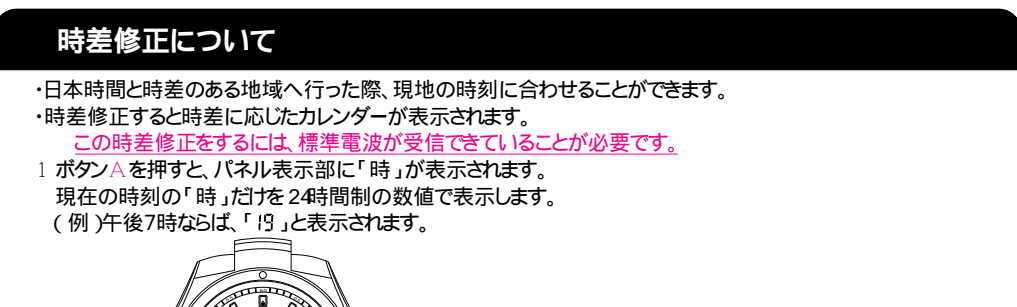
「時計」と「分針またはパネル部の分表示」を見て、時刻を合わせます。
ボタンAを押し続けるとの針の動きは不連続な動きで異常ではありません。時刻は12時間制で合わせるため、午前午後は関係ありません。

<秒を正確に合わせる方法>
(1)10:00の時報で合わせる場合、9:59になってから腕時計を10:00に合わせる。
(2)2時報を待つ間に、パネル表示部に「秒」が表示されることを確認。
(3)3時報と同時にボタンAを押してください。分の「00」表示から9秒後には秒表示に切り替わります。

時差修正について

・日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることで、時差修正すると時差に応じたカレンダーが表示されます。
この時差修正をするには、標準電波が受信できていることが必要です。

1 ボタンAを押すと、パネル表示部に「時」が表示されます。現在の時刻の「時」だけを24時間制の数値で表示します。(例)午後7時なら「19」と表示されます。



ボタンA

2 さらにボタンAを押して、現地の時刻に合わせてください。パネルの表示を見て、24時間制の「時」で合わせます。ボタンAを押すごとに「+ 1時間」になります。ボタンAを2秒以上押し続けると日本時間に戻ります。時差修正をすると時分針が早送り始めます。早送り中でもボタンAによる「時差合わせ」は可能です。

3 時分針が早送り終わると、時差修正が完了します。早送りが終わると、ボタンBによるパネルの表示切替が可能となります。時差修正後、表示されるカレンダーはその時差に連動した日付が表示されます。ただし、日本時間から「+ 4時間地域」は日付変更線を越えている地域に当たりますが、「+ 3時間地域」がサマタイムを施行する際の日付表示を優先して計算した結果を表示しますのでご注意ください。時差設定後は、受信(自動および強制)を行いませんので、時差が不要になった場合は、ボタンAを2秒以上押し続け日本時間に戻ってください。

電池について

(1)電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。ただし、自動受信以外に強制受信1回を基準として、その後、それ以上強制受信を行った場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

(2)最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

(3)電池寿命切れ予告機能
パネルに「!」の表示がでたら、電池寿命切れが間近であることを示しています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。電池寿命切れ予告機能がはたらくと、強制受信ができなくなります。

(4)電池交換
1 電池交換は、お買い上げ店で「アルバ専用電池」とご指定の上、ご用命ください。
2 電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
3 電池交換は、保証期間内でも有料となります。
4 電池交換などで裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のもは検査が必要です。

△警告
1 お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2 やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3 万一飲み込んだ場合は、体に害があるため直ちに医師にご相談ください。

△注意
1 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2 この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3 「常温(5 ~ 35 °C)からはずれた温度」下で長時間放置すると電池寿命が短くなる場合があります。

電池交換後のお願(システムリセット)

・電池交換後または、万一異常な表示になった場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。システムリセットとその後のご使用方法について
1 ボタンAとBを同時に2秒以上押し続ける。
パネル部の表示が消えて、その後「f8.88」の点滅はじまります。
2 ボタンBを押して針位置を12時00分に合わせます。
そのまま受信が始まりますので、受信しやすい場所に置いてください。
針位置合わせ以降は「ご使用方法」はじめてご使用される場合」を参照ください。
その場で、受信ができない場合は、「受信できない場合は(手動時刻合わせ)」を参照し、時刻合わせをしてください。その後、受信可能な場所で自動・強制受信を行ってください。

使用上の注意とお手入れの方法

△注意
日常のお手入れ
・ケース/バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にご使用ください。
・時計をはずしたときは、柔らかい布などで汗や水分を拭き取ってください。汚れも取れ、ケース、バンド、およびバッキンの寿命が伸びてきます。

金属バンド
・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

皮革バンド
・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こすように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

軟質プラスチックバンド
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなったり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが自立しやすく、条件によっては数ヶ月のご使用で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておく、早く変色することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗って清潔にしてください。ただし、化学製品ですでの溶剤によっては変質する場合があります。

非防水時計は、水(水道の水はね、雨、雪など)や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭きとってください。日常生活用強化防水時計は海中などで使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。回転ベゼル付きの時計の場合、ベゼルの下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にご使用ください。

△注意
かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚がかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは
1.金属・皮革に対するアレルギー
2.時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

保管について

△注意
・「5 ~ +50 °C からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
この時計は常温(5 ~ 35 °Cの範囲内)で腕に付けた時に安定した精度を得られるように調整してあります。よって温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にどちられもとの精度にもどります。

・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・湿度が高い状態での保管は避けてください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。(薬品の例:ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するもの・ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリナー、トイレ用洗剤、接着剤など・水銀、ヨウ素消毒薬など)
・湿気や防虫剤の入ったきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

△注意
防水性能
時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそってしくご使用ください。
・水分のついたまじりユースを回したり吹き出したらないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

	ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のある時計	ケースの裏に WATER RESISTANT 50-100-150 ZOBARCA、WATER RESIST 10-150 気圧防水 の表示のある時計	強化防水	強化防水	強化防水	強化防水
非防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用強化防水	×	×	×	×	×	×

洗剤や歯磨き粉などの洗剤に洗う場合、水泳や水仕事など長時間水に濡れる場合、空気を乾燥機(ドライヤー)やドライヤーで乾燥させる場合、空気が乾燥した状態での保管は避けてください。

水漏れが起きた状態でのボタン操作。

△注意
入浴について
・10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のごことに注意して下さい。
・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。(防水機能が維持できなくなる場合があります)
・温湯で時計が温まりますと、多少の進み遅れを生ずることがあります。ただし、常温にどちられもとの精度にもどります。

△警告
・日常生活用防水(3気圧)の時計は水の中に入ってしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水(5気圧)の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水(10-15気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

その他、携帯上ご注意ください

・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

定期点検について
定期的な点検により目に見えない部分原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店でご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

△注意
・部品(電池)交換の際は、「純正部品(電池)」をご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので早急に交換をご依頼ください。
・定期点検や電池交換の際にはバッキンやパネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、5年を過ぎますとコントラストが低下したり数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

修理について

1 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。
2 この時計の補修用性能部品の保有期間は通常3年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
3 修理可能な期間にご使用条件によりじちるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
4 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただいたり、またはケースごとの一式交換や代替品に替わることがありますので、ご了承ください。
5 修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。